

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年11月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671400143
法人名	社会福祉法人 長和会
事業所名	恵光園グループホーム さくらの里
所在地	鹿児島県垂水市中央町37番地2 0994-32-1881
自己評価作成日	令和3年9月21日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年11月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様や御家族の皆様の安心安全を最優先に考慮し、笑顔に溢れ、笑い声の絶えない施設をモットーに日々研鑽している。特にコロナ禍において、ご家族と長い間お会いする事が出来ない寂しさを、少しでも和らげる事が出来るよう、法人の計画で県内や垂水市内の感染状況を考慮した上で、7月に期間限定で面会を再開させて頂いた。面会されている時の歓喜に満ちた皆様の表情が印象的で、今後も笑顔を絶やすことの無い支援を提供していこうと実感した。住環境面においては、快適な生活が送られるよう毎日の清掃のほか、消毒もきめ細かく実施し、衛生管理にも配慮している。また閑静な住宅街に位置している事から、天気の良い日には散歩に出かけたり、公園で遊ぶ子供達の様子をご覧になって頂くなど、心安らぐひと時に寄り添わせて頂いている。経営方針については、母体の特別養護老人ホームの経営理念を実現する為に、スタッフの資質向上に向けての教育・育成を重要視している。施設長がアドバイザーとなる職員会議では、スタッフ自ら様々なテーマを取り上げ、実習を含めた勉強会を開催し業務へ反映している。今後も日々研鑽し、高揚心に満ち溢れた職場環境作りを目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、平成15年に本城地区に同法人の特別養護老人ホームに隣接して開設されたが、平成28年の台風による河川氾濫の浸水被害に遭い、2年前、現在地に新築移転している。現在地は市の中心地で周辺には市役所や小学校、高校、スーパーマーケット、医療機関、個人住宅等が立ち並んで利便性は十分である。幹線道路から少し入っているため騒音や交通量は少なく、広い敷地には花木が植えられ静かで落ち着いた環境である。利用者は日常的に徒歩や車いすでの周辺の散歩を四季を感じながら楽しんでいる。

地域密着型サービス事業所として認知症介護相談所「ハーモニー」を開設して地域住民からの相談に専門性を活かして助言し、地域の人と挨拶や会話を交わすなどの交流が図られ、関係が築かれてきているが、コロナ禍により現在は地域のイベントへの参加、友人知人の来訪、ボランティアや施設見学の受け入れ等は控えている。今後は、コロナの感染状況に配慮しながら、地域住民との災害時の協力関係の構築などの充実を図っていく意向である。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者の個性や尊厳を大切に、家庭的な雰囲気の中でその人らしく穏やかで安らぎのある生活の支援に日々努めている。職員は、「マナーの5原則」を常に意識し、思いや残存能力に配慮しながら利用者主体のケアに取り組んでおり、利用者や家族からの意見や要望を真摯に受け止め、スタッフ会議等で検討して改善に繋げており、アンケートの結果からも家族の信頼度の高さが窺える。

管理者及び職員は、気軽に意見が言い合える信頼と協力関係を構築しており、職員会議やスタッフ会議等で出された意見や要望を協議して、運営やサービスの向上に取り組んでいる。管理者はスキルアップを図る研修の実施や勤務シフトに有給休暇の取得や個人的な事情も配慮するなど、働きやすい職場環境の整備に努めており、資格取得や外部研修受講に係る経費の法人による助成制度もあり、職員のモチベーションアップに繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎月実施している全員参加のスタッフ会議において、運営方針・経営理念を唱和し、内容の再確認に努めると共に、施設内にも掲示している	「利用者の個性や尊厳を大切に、その人らしく穏やかで安らぎのある暮らし」が過ごせる支援をホームの理念に掲げ、玄関や事務室等に経営理念と共に掲示し、また、毎月のスタッフ会議時に唱和も行っており周知を図っている。常時、利用者の心身の状況に配慮しながら、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域密着事業計画で様々な計画を掲げているが、県内、市内の感染状況を考慮しながら、可能な活動については実施している	地域の情報の把握に努め、通常は地域の会合やイベント等に参加し、散歩や買い物時には地域の人との会話を楽しみ、家族・友人の面会、施設見学、農産物の差し入れ等を積極的に受け入れる関係が構築されている。現在はコロナ禍のため買い物や外出、会食、外食、ボランティア等の受け入れは自粛している。外部の感染状況を把握しながら、地域の七夕祭りには七夕飾りを出展して楽しみ、周辺の散歩時の挨拶や農産物を頂くなどの交流は継続しており、住民から寄せられる認知症対応等の相談には認知症介護相談所「ハーモニー」を開設して対応している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症介護相談所を開設し、地域住民の相談について、適切な支援できるように心掛けている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染症の影響により、開催中止が続いているが、出席者から頂いた意見を職員へ伝達し、サービス提供に活かされるように努めている	従来、会議は、利用者や家族、老人会会長、市職員等が参加して定期的に開催してきたが、コロナ禍に配慮して、一堂に会しての会議の開催は中止し、資料を配布して意見をもらって改善に努めている。コロナ感染の改善状況次第で、次回より会議の再開を検討中である。会議録は閲覧できるように、常時玄関に置いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>コロナ禍である現在は、主に感染対策やサービス提供に対する情報交換を行っている。また入所の相談や困難事例の報告などをおこなっている</p>	<p>介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関すること、運営やケアに係る相談、コロナ感染症予防に関連する協議等を市役所に出向いて指導や助言をもらうなど、市担当者とは密に協力関係を築いている。市主催のオンラインによる会議や研修にも出席してサービスの向上に努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束が及ぼす影響や、利用者様の気持ちに寄り添う事の大切さについて学ぶ機会を持ち、常に思いやりを持ってケアする事に取り組んでいる</p>	<p>身体拘束や権利擁護、虐待をしないケアについては運営規定や重要事項に明記し、法人全体で計画的に研修も実施して自由な暮らしのケアに取り組んでおり、身体拘束適正化を目的とした身体拘束廃止委員会も毎月開催している。日頃から見守りや寄り添いに努めて利用者の思いを汲み取る姿勢でケアに努めており、不適切な言葉等が見られた時は、その都度助言を行うなど、日頃から改善に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ会や内部研修を通じ学ぶ機会を設けている。また、事例検討会でディスカッションする事で、虐待に対する背景が明確となり、業務に活かすように取り組んでいる</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護に対する研修を通じて理解を深め、職員へ周知している。また、利用者様の権利が侵害される事のないよう、制度についての説明が出来る様になっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に重要事項説明書に基づいた説明をし、納得、理解していただけるように努めている。又、分かり易い文言での説明を心掛け、不明点や疑問点はその都度、正確に回答できるようにしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	サービス提供についての意見や確認の電話などの機会を通して利用者様やご家族の意見や要望など、可能な限りの対応を心掛けている。内容についてはノートなど活用し共有している	利用者の思いを日頃の会話や表情、仕草等で汲み取り、家族からの意見や要望は面会や電話、ライン、写真等を添付した「恵光園だより」等で利用者の状況を伝えながら把握して改善に繋げている。現在はコロナ禍のため家族との外出も十分に出来ず、イベントへの家族参加も控えてもっているが、面会はワクチンの接種状況や健康状態を把握し、感染予防を徹底しながら予約制で短時間実施している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案に対して、しっかりと向き合い、対応ができるよう心掛けている。	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係と協力体制を構築しており、日頃の業務の中や申し送り、スタッフ会議時に意見や要望を把握し、必要に応じて個人面談も行って改善に取り組んでいる。日常的にケアに関する助言やスキルアップを図る研修を実施し、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情にも配慮する等、働きやすい職場づくりに努めている。法人による、給与体制や定年後の再雇用、外部研修受講に係る経費の助成制度も設けられて職員のモチベーションアップに繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい職場環境にするためのマナー5原則を周知するなど健全な人間関係の構築に努めている。手当の増額をするなど随時、公平な処遇改善に努めている。65歳定年制であるものの、その後についても希望者全員が再雇用として就業可能である		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>キャリアパス制度の導入により資格取得のための助成も行っている。OJT・OFF-JTへの参加も促進している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>OFF-JTが交流の場であったり、交流会の切っ掛けとなっている。地域包括ケアシステムの枠組みの中で行政及び関係機関と意見交換を行っているがコロナ禍において調整中である</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	認知症対応型の事業所であるため入居時に利用者様本人からの要望を把握することは困難な場合が多いが、少しでも理解を深め合えるよう努め、入所後の関係性づくりに心がけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時又は入居前において話をする機会をもち、関係性を築きながらご家族が不安に感じていることに対して支援、アドバイスができるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居当初、優先順位を見極め、確認とアドバイスをしながら対応できるようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「一緒に生活をする人」という安心できる関係性が築けるような声掛けや態度で接し、共に食事し家族同様に安心していただけるよう心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居されていても利用者様の一番の支えはご家族様であることを考えながら、共に利用者様を支えることができるよう、また、ご家族様の思いも大切にしている。必要に応じて対話の機会を設けている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や手紙、宅配など馴染みの方との交流を大事にし、利用者様のこれまでの生活を尊重して支援にあたっている	利用者毎の馴染みの情報を把握し、通常は周辺の散歩や買い物、通院、一時帰宅、外食、墓参等を家族の協力を得ながら意向に沿って積極的に支援しているが、現在はコロナ禍に配慮して、買い物や外食、外泊等は控えてもらい、家族とは短時間の面会や電話、手紙の取り次ぎに努めている。日光浴を楽しみながらの散歩では地域の人と挨拶を交わし、農産物を頂く等の交流がある。住民から寄せられる相談には適切に助言する対応は継続している。利用者の不穏な状況時には、思いに沿って自宅周辺のドライブや墓参に同行するなど個別の支援を行って気持ちの安定を図っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの利用者様ごとの性格や性質、行動パターンを考慮し、共同作業や余暇活動を共にし、利用者様同士が関わり合える時間がもてるように努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な時には必要な支援を適切に提供できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の日々の暮らしの中で、個々のその人らしさを大事にしながら、利用者様の思いや意向をくみ取れるように心掛けている	利用者の日頃の会話や独自のサイン等から思いを汲み取り、スタッフ会議や申し送り等で協議して利用者主体の生きがいのある暮らしの支援を、家族の意向も伺いながら取り組んでいる。利用者が希望する趣味（編み物、ぬり絵、折り紙など）や食材の下処理、テーブル拭き等の取り組みを残存能力や健康状態に配慮しながら個別に支援し、衣服の交換時には利用者自身が選択するような語りかけを行い、達成感や自己肯定感が得られるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様との日々の会話やご家族からの情報から、これまでの生活歴など把握するように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	余暇活動やお茶の席で、話題を通じてこれまでの生活や嗜好等、情報を得ている。また、勤務者の報告や生活ノートの記録で情報の共有を図っている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	病院受診の機会や、電話での会話の中で、ご家族のご意向や意見等を受けている。職員とは毎月のケースカンファレンスで利用者一人一人の状態を職員全員で検討し、必要に応じて介護計画の見直しを行っている	ケアプランには、利用者や家族の意向を丁寧に聞き取り、主治医の指示やカンファレンス及びモニタリング時の職員の意見等を基に、残存機能や習慣、趣味等にも配慮した利用者主体の介護計画を作成している。利用者の状況変化時には実態に沿った計画に変更し、利用者や家族の理解も得てから改善を図るケアに取り組んでおり、実施状況は申し送りや業務日誌等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の勤務者からの報告や生活ノートによる記録などで情報の共有を図り、利用者様一人ひとりの個別の現状把握に努め、必要時は支援計画変更をしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様はあくまでも”個”であるということを念頭におき、固定観念に捉われないように利用者様の状態に配慮しながら支援やサービスの提供を考えている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居されている方でもご家族と一緒に市の開催するカフェに参加できるような支援も行っているが、コロナ禍において参加を見合わせている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居されても入居前からのかかりつけ医を受診していただきながら定期受診時には情報提供をしている。継続した医療提供を支援し、必要に応じて訪問診療や訪問看護の支援も行っている	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、定期的な通院や訪問診療が実施され、必要に応じ歯科の訪問診療や訪問看護も利用しており、他科受診も家族と協力して取り組んでいる。協力医療機関との医療連携の体制を構築し、日頃から衛生や健康管理を徹底しており、健康状態は家族にも密に報告することで利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	午前午後のバイタルサインの測定時や日常生活における体調の変化などについて、職員間で情報を共有しながら重症化、重篤化する前の対処ができるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	介護情報の早期の提供や相談員を通じての情報共有などで入院中においても継続的な支援提供がスムーズに行えるようにしている。ご家族との連絡も必要に応じて行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	内容的にご家族との関係性が重要となってくるが、利用者様は高齢であることから入居時から急変時の対応、グループホーム内で対応できること、できないことについて大まかに説明をするようにしている	重度化や看取り対応については、重要事項に明記しており、利用開始時に本人や家族に説明し「緊急時（終末期）についての同意」で対応を共有している。入所後も利用者の状態変化に応じて意向を確認しており、重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族の意向を聞き取り、主治医や看護師と連携して可能な限り希望に沿った支援に取り組んでおり、これまでも多くの看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応や心肺蘇生など研修で実施しており、実技や座学で学習し自施設でも勉強会を取り入れている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の総合防災訓練を計画的に実施し、コロナ禍に於いてはビデオを利用した研修や、また勉強会でも取り上げている。安全かつ迅速な災害時の対応についてはしっかりと体制づくりをしていきたい</p>	<p>夜間想定を含む火災中心の防災訓練を年2回実施し消防署の協力も得られている。コロナ禍に配慮してビデオを活用した研修や勉強会を開催し、日頃から避難経路の確認や災害の報道を基に意見を交わすなど防災への認識の共有に努めている。自動通報装置やスプリンクラーが設置され、ラジオ、懐中電灯等を備え、食料品、飲料水、介護用品も備蓄している。今後は近隣の住人との協力体制の構築を検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人権を尊重し、先輩であるという尊敬の思いを忘れることなく、日々スタッフ同士で反省・注意喚起し、障害のある利用者に対して表情の動きや言動等から読みとり、人格を損ねないようにしている	利用者の人格や誇り、プライバシーの尊重は法人全体及びホーム独自の研修を実施し、ケアの振り返りや意見交換等で認識を深めており、各利用者の生活歴や個性、習慣等にも配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めている。ホームはプライバシー保護に配慮した構造になっており、衣服の着脱や排泄、入浴時の声掛けは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	他者との会話をあまり持たれない方でも孤立する事のないよう見守り声掛け誘導し、話をしやすい環境の提供やゆっくりとした時間が提供できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に追われてしまうと施設側の都合で、ということになってしまうため業務内容を検討し利用者様の希望に添えるような支援を心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	コロナ禍に於いては外出や買い物の同行が減っているが、白髪染めや、洋服を買いにいきたいなどの希望や要望にお応えしたり、入浴後の着替えをご自分で準備出来るように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の残存能力や性格を考慮し、食後のテーブル拭きやお盆拭き、また、その日に使用する食材の下ごしらえ等の声掛けをしている	食事は利用者の何よりの楽しみで関心も高く要望も多いことから、好みや栄養バランス、形態、季節感、疾病に伴う摂取制限等に配慮した基本のメニューを作成しており、法人の管理栄養士の助言や指導も受けている。差し入れや菜園の野菜等も活用しながら調理しており、利用者も一緒に食材の下処理や片付け等に取り組んでいる。季節の行事食や誕生会、敬老会等の特別食、手作りのおやつ、そば打ち、ケーキ作り等、食事が楽しみとなるよう日々工夫しているが、コロナ禍に配慮して外食や家族との会食は自粛している。利用者ごとに食事や水分の摂取状況は把握されている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態や量などは個々の状態を考慮し準備をしている。水分に関しては主治医と連携をとりながらしっかり摂っていただくように声掛けしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔内の状態観察を兼ねて歯磨き、うがい、口腔清拭などを実施し、必要時歯科受診をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中の排泄は可能な限りトイレに座っていただくようにしている。排泄のパターンに応じた声掛け誘導もしている。出来る範囲の拭き取りの声掛けや見守り支援をしている	各利用者の排泄パターンを把握し、習慣にも配慮した声掛け等で可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の状態に応じた介護用品やケアの方法を介護計画に反映させて改善に努めており介護用品の使用量の減少などの改善がみられている。便秘の予防に繊維の多い食材や乳製品、オリゴ糖、水分の摂取及び運動量等に配慮し、主治医にも相談しながら対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維やオリゴ糖、水分摂取などで自然な排便を目指し、状況においては定期的に排便がみられるように座薬などの使用を試みている。必要に応じて医師へ相談をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様の希望の曜日や時間帯に自由に入浴して頂くことは出来ていないが、週3回の入浴と日曜日には足浴を支援し楽しんで頂けるように配慮している	基本週3回の入浴と週1回の足浴を実施しており、温度や好みのシャンプー、同性介助等は利用者の意向に沿って柔軟に対応し、個浴でゆっくり楽しんでもらっている。入浴をためらう利用者には時間や順番を工夫しながら声掛けし、本人の意欲を待ように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中にリハビリや生活リハなどを提供することで離床して活動時間を増やし、夜間よく休んでいただくようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に対しては介助で服用される方が多く確実に服用していただけているようにしている。副作用についても考慮しながら服用していただいている。必要に応じて医師や薬剤師に相談している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	グループホーム内で生活していただく中で家事のお手伝いができる方にはしていただいたり、リハビリの時に楽器演奏をしていただくなどの役割分担をしていただき、楽しみや自分のやれることを経験していただいている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の希望についてはご本人からの要望は少ないが、気候や天気などを配慮しながら園庭に出て花をみたり風を感じたりしていただけるような支援に心掛けている。また、帰宅願望や不穏が生じた際には気分転換に15分程度のドライブを実施している	コロナ禍により、外出への制約はあるものの、道の駅や千本銀杏の見物などにドライブで出かけ、車窓からの街並みや風景も楽しんでいる。日常的には体調に配慮しながら朝夕2回の散歩やベンチでの日光浴、菜園の野菜や草花を愛でるなどの外出の支援に取り組んでいる。帰宅願望等で不穏になった利用者に対しては、十分に思いを聞き取り、自宅周辺や墓参等思いに沿ったドライブを個別に支援して、気持ちの安定を図っている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理については困難な方が多いため、ご家族に了承を得たうえで施設で管理をさせていただいている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話があった際には利用者様と話をさせていただいたり、はがきや手紙については利用者様がわかるような形で支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>気温や湿度などの配慮、五感に対して悪影響がないように配慮している。季節や生活感を感じていただけるように花や掲示物などを工夫し、対話の機会を得ながらコミュニケーションを図っている</p>	<p>利用者が昼間の殆どを過ごすリビングは天窓も設けられて明るく、余裕あるスペースが確保されており、動線や利便性に配慮してテーブルやソファ等の家具が設置されている。季節感のある手づくりの壁画や飾り物が毎月入れ替えて置かれ、利用者の作品や活花も飾られており、台所からは調理の音や臭いが感じられて家庭的な雰囲気である。気になる騒音や異臭も無く、清掃や空調、衛生管理等も徹底しており、利用者は日常的に園庭での日光浴や散歩、樹木や草花を愛でるなど、四季を感じながら穏やかな日々を過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者様には居室がそれぞれ完備されており、面会などの際には居室へ、リビングにおいてはほかの利用者様と自由に交流できるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に利用者様の馴染みのものや着衣なども自宅で着慣れたもの、枕も使い慣れたものを持ってきていただいている。また、写真や手紙など掲示物に配慮し、安心して過ごせるように心掛けている</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の構造で明るく、余裕のある広さが確保されており、エアコン、ベッド、タンスが設置してある。自分の居室を戸惑うことの無いように入口には苗字の表示に加え、折り紙の花などを飾って判別しやすいように工夫している。利用者は自宅で愛用していたテレビや寝具、家族写真、位牌等を持ち込み、自身の作品や頂いた品物も飾る等、その人らしい落ち着いて過ごせる環境になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下やトイレなどは十分な広さがある。手すりも随所に設置されている。洗面所も車いすでも使用できるよう高さも配慮している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない